

# 令和7年度 学校関係者評価

学校名	北海道厚真高等学校
-----	-----------

組織名	学校運営協議会
評価者	
・学校運営協議会の委員 14名 (校長除く)	

## 1 本年度の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校教育目標 よき市民 よき社会人を育てる</li> <li>○ スクールミッション             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 個々の生徒の特性等に対応した学習指導及びキャリア教育を通じて、主体的な進路の選択決定をするための資質・能力を身に付けた生徒の育成</li> <li>(2) 望ましい勤労観、職業観を身に付け、自己実現のために努力する生徒の育成</li> <li>(3) 適切な言語活動とおとして自己表現力を高めた生徒の育成</li> <li>(4) 広い視野と高い社会性を身に付けた生徒の育成</li> </ul> </li> <li>○ スクールポリシー             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針</li> <li>(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針</li> <li>(3) 入学者の受入に関する方針</li> </ul> </li> </ul>	<p>・教職員の自己評価が、なかなか厳しい評価をしていますが、厚真高校の校長先生をはじめ、先生方は大変頑張っていると思います。今後も応援致します。</p> <p>・評価項目にはありませんが、地域と繋がる学びが素晴らしいです。今後も地域と密着した学び、体験を大切にしていきたいです。</p> <p>・ここ数年、厚真高校の生徒の様子が変わり、大変落ち着いた。あつま田舎まつりでも楽しそうに参加していたことが印象的でした。</p>
---	--

## 2 自己評価結果

大項目	中項目	評価項目・指標等		達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の結果の内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善の方策の適切さ
		小項目							
学習指導	・基礎的・基本的な知識・技能	(指標)	・生徒の自己評価、学校生活アンケート等において、「朝学習」の取組等に係る肯定的な回答が70%以上となることを目指す。 (生徒の肯定的な回答(そう思う・おおむねそう思う)が70%以上を評価A、50%以上を評価B、50%未満を評価Cとする)	B	B	肯定的回答が昨年度94%、今年度は86%と下降した。職員の取組も3.2で若干下降。学習に向かう姿勢の乏しい生徒がいるが、学習習慣の確立に向け、継続的な指導が必要。	A	A	A
		(指標)	・課題解決力: 主体的に考え・行動することで、課題を把握し、改善・解決する力	B	B	肯定的回答が昨年度42%、今年度40%と比べ減少傾向にある。職員の取組は3.0と下降し、低い傾向。オンライン学習等を活用し、家庭学習の啓発を実施したい。	A	B	A
		(指標)	・ICT活用し、わかりやすい授業について肯定的な回答70%以上を目指す。 (前年度比減を評価A、変化なしを評価B、前年度比増を評価Cとする)	A	A	令和4年度86%、令和5年度82%、今年度は89%で、ICT利用の肯定的な回答が増加傾向である。	A	A	A
評価者の意見等	<p>・組織的に、適切に家庭学習に関して、生徒の気持ちを切り替えつつ、自主性の向上をサポートする取り組みは素晴らしいと思う。</p> <p>・朝学習によるテスト形式におこなって、採点・評価や、学年末に表彰等をおこなっていることは、生徒達のやる気を向上させる取り組みだと思います。</p>								
生徒指導	#REF!	(指標)	・朝の遅刻を、1人あたり前年度比減を目指し、指導啓発を行う。 (前年度比減を評価A、変化なしを評価B、前年度比増を評価Cとする)	B	B	・昨年度の実数は315名であり、今年度は480名と増加傾向にあるが、常習化している生徒が数名在籍しており、全体的には減少傾向にある。引き続き、指導の継続をおこなう。	A	B	A
	・人間関係構築力: 自分を知り、相手の気持ちを推察することにより、良好な人間関係を築き力	(指標)	・いじめアンケートで、「いじめはどんな理由があっても許されない」との回答率100%を目指し、そのための啓発指導を行う。 (回答の割合が100%であれば評価A、80%以上が評価B、80%未満は評価Cとする)	A	A	・「そう思う」との回答91%、「わからない」は、今年度は低い。職員の取組は3.7と高い。次年度もいじめ問題の認識、早期の対処と組織的な対応の充実を図る。	A	A	A
評価者の意見等	<p>・教員の取組、生徒の受け止め方は尊重するが、いじめは個人、特に受け手被害の受け止め方であり100%の円満は、個人的にはきびしいと感じます。</p> <p>・引き続き教員、生徒、公営塾を含め、きめ細やかな対応をお願い致します。</p> <p>・先生も生徒もなかなか良い状況で、この様子が続くよう希望します。・少人数だからこそ、丁寧な係わりができると思います。</p>								
進路指導	・協働力: 互いの良さを認めながら、共に取り組む力	(指標)	・進学・就職希望の年度内進路決定率を100%とする。 (内定率が100%であれば評価A、80%以上が評価B、80%未満を評価Cとする)	A	A	・進路決定100%、職員の取組も3.7と高い。次年度も個別の職業指導も含め、継続的に職業観・進路意識を涵養し、早期に取り組んでいく。	A	A	A
	・キャリア形成力: 生き方や進路について考え、自らを律し行動する力	(指標)	・生徒の資格・検定取得等の取組として受検率100%を目指すとともに合格率の向上を図る。 (受検率が80%以上であれば評価A、60%以上が評価B、60%未満を評価Cとする)	B	B	・検定の受検率は84.3%であった。担当分掌、学年や教科と連携し、受検率・合格率の向上を図る必要がある。	A	B	A
評価者の意見等	<p>・進学、就職ともに、とても良い状況で町民としても嬉しい限りです。</p> <p>・生徒一人ひとりの進路決定に至るまでの寄り添いご指導に敬服致します。また、各種検定受検率84.3%であり、資格取得を進める教員の取組も素晴らしいと思います。</p>								

・「達成状況」項目の評価(A、B、C)は、生徒による学校評価(自己評価)アンケートの集計結果に基づく。

・「取組の適切さ」項目の評価(A(3.5~4.0)、B(3.0~3.4)、C(~3.0))は、教員による学校評価(自己評価)アンケートの集計結果に基づく。